量子力学 第川田 課題 8223036 栗山 淳

1、1モルの2原子分子の回転におけれが高温極限で尺となることを証明され。

分配関数 Z= zNA

Z = Z (2lt) exp ( - e(et)) k'p)

アガーナラーナ いですると、そのとに関する和は積分で表すことかでは

$$Z = \int_{0}^{\infty} (20+1) \exp\left(-\frac{Q(0+1)K')}{2I}\right) dl$$

$$X = Q(0+1) \times \frac{1}{2} \times \frac{dx}{dl} \cdot 2l+1 \iff dl = \frac{1}{2l+1} dx$$

$$= \frac{1}{2}$$

 $z \in \int_{-\infty}^{\infty} \exp\left(-\frac{\kappa k_{\beta}}{2I}\right) dx$ 

$$\frac{2}{\pi} = \int_{0}^{\infty} \exp\left(-\frac{x t^{2} p}{2I}\right) dx$$

$$= \lim_{\alpha \to \infty} \left[-\frac{z_{I}}{t^{2} p} \exp\left(-\frac{x t^{2} p}{2I}\right)\right]_{0}^{\alpha}$$

$$= \lim_{\alpha \to \infty} \left(-\frac{z_{I}}{t^{2} p} \exp\left(-\frac{x t^{2} p}{2I}\right)\right) + \frac{z_{I}}{t^{2} p}$$

$$= \lim_{\alpha \to \infty} \left(-\frac{z_{I}}{t^{2} p} \exp\left(-\frac{x t^{2} p}{2I}\right) + \frac{z_{I}}{t^{2} p}\right)$$

$$= \frac{z_{I}}{t^{2} p} \exp\left(-\frac{x t^{2} p}{2I}\right) + \frac{z_{I}}{t^{2} p}$$

工剂4'-E=-多加Z=-多加加型 - (共) - (一种) - (一种) - 大阪

エネルトー等分配のは従い、各的度が野りエネルギーはき株町であり、つつか回転自由方か存在了JEM 10 CV = dE = 2 1 2 R = R (ドンチリンをはりのら体や変 Ke· Ro) 上【红明之私花

2. エネルギー等分配別をもとに、比熱からになる持日を述べる。

エネルギー 筆分配則より、各自由度が筆しく エネルギー を分配する。

高温極限では参自由度が立ち、丁のエネルギーを持つ、

2原子分子の回転は2つの自由度を持す。それぞ本の自由度は立大は「一を対コロア」

2 × = KBT = KAT

比熱CVはエネルゲーの 温度微ななので

まて比較か尺でする。